

第2回小児がんセンター市民公開講座 実施結果

1. 日時：平成29年3月11日（土） 13:30～15:30（開場13:00～）
2. 場所：TKPガーデンシティ横浜 ホールA
3. 対象：一般市民 他
4. 内容：
 - ①小児がんの晩期合併症と長期フォローアップについて
日本医科大学付属病院 小児科医師 前田美穂氏
 - ②小児がん相談の実際と支援について
公益財団法人 がんの子どもを守る会 ソーシャルワーカー 石橋裕子氏
 - ③病気であっても自分らしく生きるために 小児がん経験者（結城周平氏）

実施結果

参加者：72名

一般参加者 32名

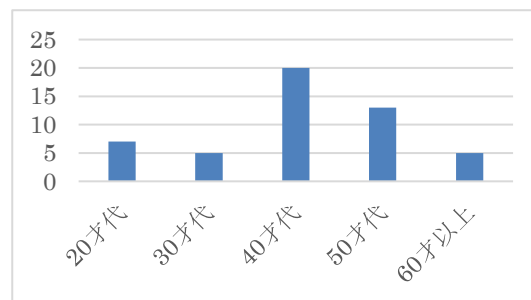
医療関係者 40名（自施設 22名、学校関係 5名、行政 4名、その他の医療関係者 8名、不明 1名）

アンケート結果 回答者：50名（69.4%）

1. 背景

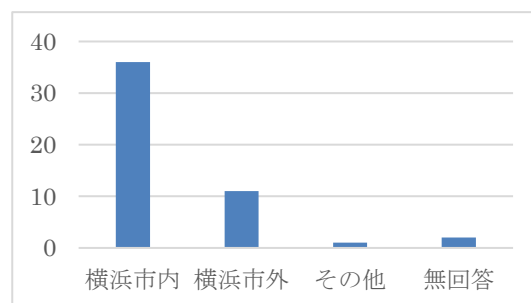
1) 年齢

20才代：7名，30才代：5名，
40才代：20名，50才代：13名，
60才以上：5名



2) 居住場所

横浜市内：36名
横浜市外：11名，藤沢(4)，川崎(2)，鎌倉(2)
相模原市(1)，東京(1)，



3) 職業

主婦(7)，医師(6)，教員(5)，看護師(3)，学生(3)，薬剤師(2)，会社員(2)，
医学生(1)，ケアマネージャー(1)，介護福祉士(1)，保育士(1)，相談援助職(1)，歯科医師(1)，
公務員(1)，団体職員(1)，パート(1)，無職(1)，無回答(12)

2. 講座を知ったきっかけ（複数回答あり）

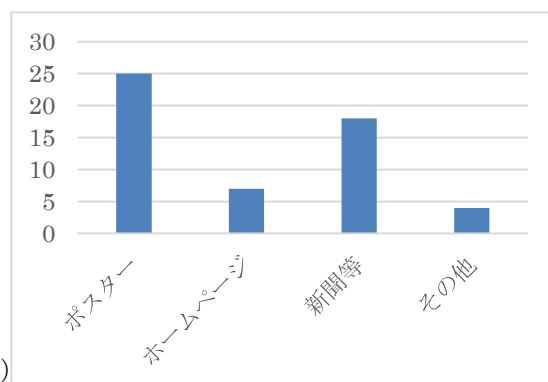
1) ポスター：25名

こども医療センター(16)，
KCMC以外の病院(3)，市役所等の公的機関(2)
その他(1：県立養護学校への案内)，無記入(3)

2) ホームページ：7名 こども医療センター(6)，神奈川県(1)

3) 新聞など：18名 タウンニュース(10)，県のたより(8)

4) その他：4名 勤務場所に案内があった2，大学の先生の紹介，友人の紹介



3. 参加理由 (複数回答あり)

- 1) 小児がん経験者のため：5名 (4名はこども医療センターでのちらし、1名は大学教員より知る)
- 2) 身内に小児がん経験者がいる：13名 (7名は県のたよりやタウンニュース、他医療機関4名)
- 3) 小児がんに関心がある：14名
- 4) 誘われたため：3名
- 5) 支援者として関わっている：19名 医療者(6)、学校関係者(4)、その他(2)、無記入(7)
- 6) その他：4名 今後支援者として関わりたい、小児科医になりたい、勉強のため等

4. 講座内容について

- 1) 大変よかった：28名 よかった：22名 どちらともいえない：0名 わるかった：0名
- 2) 自由意見

①前田医師

- ・前田先生のお話が大変わかりやすい。4名
- ・長期フォローアップの必要性や大切さがわかった。2名
- ・何十年たってもまだ気は抜けない事を意識させていただいた。感謝です。
- ・治療の内容とその後の状況が良く理解できた。
- ・長期フォローについて、診察時では伺えないことを聞いたのでよかった。
- ・小児がんになると成人でのがんの死亡率が高まると初めて知った。
- ・まさに自分が通っている長期フォローアップのための外来が、いかに重要であるかがわかった。

②石橋氏

- ・がんの子どもを守る会の活動内容が良く理解できた。2名
- ・ソーシャルワーカーの話で、具体的な相談内容をもう少し詳しく聞きたかった。
- ・がんの子どもを守る会の情報などは、今後もグリーフケア時に母親に伝えようと思った。

③経験者

- ・小児がん経験者の話を聞く機会が少ないので良かった。3名
- ・経験者の話は、今後経験者が増えてくると思うので非常に興味深い。
- ・小児がんの中でも脳腫瘍は後遺症が多く特殊なので、脳腫瘍の経験者が登壇される日が来るのが待ち遠しい。
- ・体験者の話が明るくて良いと思った。

総合的

- ・患者家族の不安を知ることができた。患者である子ども、そして家族との関わり方を考えていきたいと思った。また、退院後に戻ってくる子どもの受け入れ体制を整えてもらえたらよいと思った。
- ・教員として、病気を抱える児童とどのように向き合っていけよいかを考える貴重な機会になった。
- ・スライドの資料があり、とても分かりやすかった。今回も色々な立場からの話が聞けて勉強になった。

5. 今後とりあげてほしい内容

- ・小児がんの子どもを持った親の体験談。3名
- ・小児がんのターミナル事例や住み慣れた家で最後を過ごした症例等が知りたい。2名
- ・きょうだい児への影響やきょうだいへの対応について知りたい。2名
- ・子どもたちを支える家族等への心の支援の状況と今後の計画(貴センターでの)
- ・家族を取り巻く関係者の話を聞きたい。
- ・小児がん患児・家族が周囲にどのようなことを求めているのか知りたい。
- ・闘病の記憶のない乳幼児期に治療をしていた子に対する説明の仕方など。

- ・医療者から考える、小児がんの子どもたちの姿や接し方などについて。
- ・より子どもに近い立場（看護師、院内学級の教員等）からの話も聞きたい。
- ・経験者の話にもありましたが、学校に戻ってくる時に、どのような環境が子どもにとって不安やストレスを軽減できるのか知りたい。
- ・家族との関わり（入院中、退院後ともに）
- ・大人のがんと小児のがんの違いや治療法の進歩（最近の薬）小児がん患者の兄弟・姉妹についての話。
- ・脳放射線照射での認知障害について知りたく、詳しい情報を届けていただけたらと願う。
- ・晩期合併症、高次脳機能障害に特化した内容。
- ・AYA 世代。妊よう性。
- ・成人後の経過観察システムや、成人がん病院との連携について。
- ・他職種連携など。
- ・最近の保険のこと。
- ・がんにかかりやすい体質は遺伝していくのかの研究。がん発症と食生活との関係。食生活(食習慣)の良し悪しは、がんの原因になりうるかの研究。